

図書館だより

子どもの本棚

子どもたちに勧めたい本をご紹介します。本選びの参考になさってください。

「梅雨」大人はゆううつになりますが外に出ら

れない子どもたちはパワーあまって大騒ぎ。長靴に傘、レインコート、どれも楽しみで仕方ないようです。雨の中を歩いたり水たまりを見つけては入ってみたり。傘を差すと大人になった気持ちになりワクワクします。

晴れには晴れの、雨には雨の、楽しさがあります。「雨」の楽しみを感じる絵本を紹介します。

『かさどろぼう』 作・絵：シビル・ウェッタシンハ 訳：いのくまようこ

スリランカの島の村人は、まだ傘を見たことがありません。雨が降ったら葉っぱやかごをかぶり傘のかわりにしていました。ある日、この村のキリ・ママおじさんが生まれて初めて街へ出掛けました。街の人は緑や赤、黄色のカラフルな傘や花模様や水玉の傘を差しています。「なんてきれいで便利なものだろう。1本買って帰るとしよう。」初めて見る傘に魅了され、気に入った傘を買って帰りました。村へ帰り、店でコーヒーを飲みながらおしゃべりしていると大変な事が起こります。外に置いてあった傘がなくなっていました！キリ・ママおじさんは悲しくて仕方ありません。数日後、雨が降りました。「こんな時あの傘があったらなあ。」と再び傘を買いに行くことにしました。けれども、店でコーヒーを飲みながらおしゃべりしている間にこの傘もなくなっていました。キリ・ママおじさんは諦めずに傘がなくなる度に街で買ってきますが、同じようになくなってしまいます。次はどろぼうを捕まえようと新しく買ってきた傘に紙切れを詰め込みました。いつものようにおしゃべりしていると傘は消えていきましたが、入れておいた紙切れが落ちているのを発見しました。紙切れの印に沿って行くとびっくりすることが待っていました。なくなった傘が枝に並んでぶら下がっていました。キリ・ママおじさんは傘を1本どろぼうに残してあげることし、他のすべてを取り戻すことができました。次の

日、キリ・ママおじさんは店を開き「傘はいかが。日よけになるし雨にも濡れないですむ便利なものだよ。」と傘を売りました。まもなく村中にこのことが知れ渡り、傘を見ようと村人たちが押しかけました。そして、村では、村人たちが傘を差し歩くので、花が咲いたようになりました。一方、キリ・ママおじさんは残してきた傘はどうなったのか見てみたくなり森へ行ってみました。傘がぶら下がっていた木の枝を見上げると笑い出してしまいました。開いた傘の中に座りこんでいた正体が意外だったからです。それは、いたずら子ぎるだったのです。

どろぼうが子ぎるだったという予想もしない展開はほっとした気持ちにさせてくれ、すてきなラストへ導いてくれます。スリランカの村で本当にあったストーリーで梅雨の季節にぴったりの絵本です。村中に色とりどりの傘が開いている絵を見ただけで楽しくなってきます。スリランカを代表する絵本作家が小さな村を舞台にのびのびと描くユーモラスで楽しいストーリーです。



第3回野間国際絵本原画コンクール入賞作品

Peeka Boo

～あかちゃんとおかあさんの絵本の時間～

6月17日(火) 10:30～11:00 ☆毎月第3火曜日☆

乳幼児と保護者を対象に、1F絵本コーナーで手遊びや読みきかせをしています。どなたでもお気軽にお越しください。

くつしたのあな

～おはなし会を開いています～

6月21日(土) 14:30～15:00 ☆毎月第3土曜日☆

5、6歳から小学生の皆さんのためのおはなし会です。ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをしています。是非、遊びにきてください。

開館時間	本館	9:30～18:00
	枝川分室	
休館日	本館	毎週月曜日・祝日 館内整理日(27日金曜日)
	枝川分室	月・水・金・日・祝日
電話番号	本館	☎ 850-4360
	枝川分室	☎ 850-4350

<http://inolib.town.ino.kochi.jp>

6月の展示

- ・名・迷たんていシリーズ
- ・『雨・あめ』
- ・フランソワーズの本